

生活と事業の継続に向けた 新しい地震対策を考える オンラインセミナーのご案内 〈耐震、免震・制震から収震(SRF)へ〉

今世紀に入り、想定を数倍上回る豪雨、大地震動が続々と観測されています。河川の氾濫、建物損壊により甚大な被害が生じており、総合治水、耐震、免震・制震等、20世紀の方法と技術では間に合わなくなっています。新耐震規準は、大地震に対しては、使えなくなってもよい、倒壊しなければよいという基準です。大都市では、使えない建物が林立し、数週間、あるいは数か月にわたり、都市機能が麻痺する危険性があります。最近の研究によれば、群衆雪崩、未治療死、通電火災、火災旋風、地震洪水などの間接被害が続々と発生し、多数の人命が失われるとのこと。熊本地震では、耐震化率100%の熊本市周辺において、建物施設が使用できなくなったことによる災害関連死が直接死の4倍を超える事態となりました。

これまでのセッションでは、耐震等の課題に対して、5つの解決策を提案し、大型震動台実験、微動解析により、収震の損傷制御効果を定量化し計測する方法、及び、主要な柱をしなやかな弾性材料で巻きたてることで倒壊防止する軸耐力補強をご紹介しました。今回は、軸耐力補強の設計・施工法、震災での実証例と3次元で構造物の振動を捉える微動解析事例と耐震診断、構造計算との比較についてご報告します。

日時

2020年9月2日(水)
セミナー：13:30～14:30
個別相談：14:40～

テーマ

〈セッション3〉
・軸耐力補強の設計法・施工法
及び、震災での実証例
・微動解析の方法と実施例
耐震診断、構造計算との比較

※これまでのセッションはYouTubeで視聴可能です。
セッション1 <https://youtu.be/daeV7oVqNkA>
セッション2 <https://youtu.be/dqWz6C6Gqxs>

開催方法

オンライン(ZOOM)
※受講方法については参加URLを含め、申込受付メールにてご案内いたします。

申込方法

以下の事項をご記入の上、メールにてお申し込みください。

件名「9/2 オンラインセミナー」
・ご所属・お名前・ご住所(任意)・ご連絡先
・個別相談ご希望の有無
・お申込のきっかけ(DM・紹介・HPなど)
・使用機器(PC・スマートフォンなど)

※スマートフォンからご参加の方には参加時に必要となるIDとPWを別途お知らせいたします。

ご案内

SRF設計研修会(7/1開催分)は会員限定ページでご視聴いただけます。
設計会員は無料です。ぜひご入会ください。 <https://www.sqa.co.jp/srf/admission.html>



講師
構造品質保証研究所株式会社
代表取締役社長
五十嵐 俊一
工学博士
日本建築学会会員
地盤工学会正会員
コンクリート工学会正会員

お申込先 E-mail: seminar@sqa.co.jp

■お問合せ先
構造品質保証研究所 セミナー事務局
TEL 04-7189-7621